

地球温暖化防止部会2020年度活動報告

定例会合は毎月第3or4土曜日 14:00~16:00 イルミン(活動センター)

代表 本多進

1. エコライフDAY:

- ・協力していただいた方々:入間ガス、ダイハウス工業、JA いるま野、入間市環境まちづくり会議会員など。
- ・実施は2020年7月~9月、2020年12月~2021年2月の2回、回収方法は直接受付と郵送
- ・参加者は前年度より減少 夏 850名 冬 838名 計 1688名で目標 2000名に達成せず
環境フェア約 150名及び年2回の見学会で約 80名分がコロナ禍で中止になったため参加者が減少
- ・CO2削減は 夏は 977Kg 冬は 1097Kg 計 2074Kg で前年より20%の減少であった。

2. ダイエットコンクール:

「エコライフDAY2020年夏と冬」のチェックシートを利用し、電力会社の領収書にて電力の削減率上位 10名と一人当たりの消費電力の低い順10名計20名に記念品(ギフト券)を送呈

3. 見学会:

(1)2020年5月下旬 宮ヶ瀬ダム 一般募集

- ・計画していたがバスでの移動は密になりコロナ感染の恐れがあるため中止

(2)部会関係者の見学会

- ・コロナ感染の恐れがあるため全て中止

4. 第9回いるま環境フェア:2020年10月予定

- ・コロナ禍のため中止となった。

5. SDGs 講座 部会で下記の事例を紹介

(1)SDGsとは:(Sustainable Development Goals)

SDGs(エス・ディー・ジーズと読む)最後は Goals(ゴールズ)の略、持続可能な開発目標という意味

SDGs は 2015 年 9 月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟 193 国が 2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために掲げた17の目標、国連事務総長はグテーレス(ポルトガル人)

- ### (2)WASSHA:(項目7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに)ワッシャとは
- スワヒリ語で火を灯すという意味、東大ベンチャーが始めたアフリカの未電化地域に光を灯す事業、LEDライトをレンタルするビジネス。料金は 25 円で 15 時間使用可能、電源はソーラーパネルで発電し充電、携帯電話の充電も可能、モバイルマネーで処理、レンタルは現地のタンザニアのキオスクで取り扱っている。タンザニアのキオスクの 2000 店舗に 10 万本(2020/3 月現在)貸し出している。2022 年までに1万店舗を目標、200 名以上のスタッフが働いている。



- ### (3)OCEAN CLEANUP:(項目 14 海の豊かさを守ろう)オランダ人のボヤン・スラット氏が発案、ほとんどのプラスチックは海面から3m 以内であることに着目、150m のパイプとパラシュートで海に漂うプラスチックを海流を利用して自動回収する装置、太平洋ごみベルトで回収が行われた。資金はクラウドファンディングで調達、2040 年までに海のプラスチックの 90%を回収する計画

- ### (4)INTERCEPTOR:(項目 14 海の豊かさを守ろう)オランダ人のボヤン・スラット氏が発案、世界の河川の1%が 80%のプラスチックを流出していることに着目、川に流れるプラスチックを自動的に回収する装置、24 時間稼働、動力源はソーラーパネルで発電、世界のプラスチックの多い河川に設置予定、最初はインドネシアのクラン川で開始

- ### (5)東京油田:(項目7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに)東京の染谷商店が始めた、レストランや家庭から使用済みの天ぷら油を回収してごみなどを取り除きバイオ燃料に交換、黒煙は 1/3、硫黄酸化物はゼロ、東京都を中心に 400 か所で回収、最近 YAMAHA の支援でごみを取り除いただけの天ぷら油で発電、東京電力に売電している。

- ### (6)SATO:(項目 6 安全な水とトイレを世界へ)SAve TOilet 安全なトイレの略、開発途上国向け簡易式トイレ、住宅設備メーカーLIXILの石山大吾氏が考案、用が終わって水を流すとすぐ弁が閉じ臭いと虫の侵入を防ぐ簡単な構造、価格は数百円、現地生産で雇用が生まれ持続可能な事業



以上